



国際ロータリー AI ガイドライン（会員向け）

「AI ガイドライン（会員向け）」は、ロータリアンとローターアクターがロータリーの使命と価値観を尊重しつつ、人工知能（AI）を責任ある倫理的な方法で活用できるよう支援するためのものです。AI の適切な利用やプライバシーとブランドの保護に関する指針として、また、[ロータリー章典](#)および[利用規約](#)に沿うための参考として本ガイドラインをご利用ください。

AI の個々の使用法について適切かどうか分からない場合は、ロータリーお問い合わせセンター（rotarysupportcenter@rotary.org）にご連絡ください。

目的

国際ロータリーは、クラブと地区の使命を支援するため、責任ある AI ツールの使用を奨励します。また、ロータリーの使命と価値観に従い、環境の持続可能性および責任ある公平な AI 利用によるロータリー重点分野の促進を通じて、倫理的に AI を使用します。

本ガイドラインは、会員が倫理的に AI を使用し、機密情報を守り、ロータリーの信頼と評価を守るための指針となります。

1. 定義

人工知能（AI）：コンテンツを生成したり、推奨事項を提供したり、予測を行ったりできる機械システム。

生成 AI：既存のデータから新しいコンテンツ（文章、画像、コード、メディアなど）を作成する AI。

AI ツール：タスクを遂行するために AI を利用するソフトウェア、チャットボット、オンラインサービス。

個人識別情報（PII）：氏名、連絡先、写真、ID 番号、その他固有の個人データなど、特定の個人を識別できるあらゆる情報。

2. AI の適切な使用

会員は、機密情報が含まれない公開の事柄において、AI ツールを使用できます。これには、次のようなものが含まれます（ただし、これらに限定されません）：

- ソーシャルメディア投稿の作成
- 一般公開用のニュースレターやイベント案内の作成
- プレゼンテーション資料や話の要点の準備
- 公開されているデータの分析
- プロジェクトや広報活動のためのアイデア生成
- 機密情報が含まれない公開コンテンツの翻訳（ロータリーの価値観を反映し、文化的・文脈的に適切である翻訳であることを確認すること）

3. 倫理的で公正な AI の使用

倫理的に AI を使用することは、真実を尊重し、公正さを高め、友好を促し、すべての人のためになります。ロータリーは、倫理的で公正、かつ責任ある方法で AI を使用することを重視しています。

より大きなインパクトをもたらすための AI の活用：ロータリーの使命と価値観を推進し、重点分野での世界的なインパクトを高めるために AI を活用しましょう。

人を中心とした意思決定：AI は人の意思決定を補助・強化するものであり、人に代わるものではありません。

公平さの促進：公平な社会を推進するために AI を活用しましょう。偏りのあるコンテンツや意思決定によって新たな不平等を生み出さないことが重要です。

持続可能な AI ツールの活用：倫理的で公平、かつ社会的責任を重視するプロバイダーによる AI ツールを使用しましょう（環境の持続可能性を重視するプロバイダーなど）。

責任ある AI 使用の推進：倫理的かつ公平な方法で AI を利用することを奨励し、自ら模範を示しましょう。

AI の影響に関する透明性の確保：AI の利点だけでなく、課題（特に社会的、経済的、環境的な影響）も認めることで信頼を築き、人道的団体としてのロータリーの目的を伝えましょう。

4. ロータリー情報の機密性

AI ツールに**個人情報、機密情報、慎重に扱うべき情報**を入力しないでください。これには、次のような情報が含まれます（ただし、これらに限定されません）：

- 明確な使用許可を得ていない個人データ（氏名、連絡先、写真など）
- クラブ運営記録（例：地区またはクラブのデータベースからの記録）
- 財務記録、予算、会費情報
- 寄付者情報（寄付額、寄付履歴、認証レベルを含む）
- 補助金の申請書や詳細、財団専門家グループ（Cadre）の評価報告書、監査報告書
- ロータリーのプロジェクトや補助金に参加する地元の人びとや協力団体の情報（データの利用について本人の同意を得ている場合を除く）
- クラブまたは地区が運営する財団の情報
- 契約書または同意書

生成 AI ツールを使用する場合、参加者、寄付者、地元の協力団体に関する個人情報を含む入力データは、AI システムの学習のために保存・分析・利用される可能性があります。これはプライバシー、地域社会の信頼、そして責任あるデータ管理に関するロータリーの倫理的責任を損なうものです。

5. データプライバシー

個人識別情報（PII）は、決して同意なしに共有しないでください。 AI ツールにおけるデータプライバシーの考慮事項は以下の通りです：

- 可能な限り、個人情報を含むあらゆるデータを AI モデルの学習や改良に使用することを利用規約で明確に禁止している、**ライセンス契約された**生成 AI ツールを使用してください。
- 可能な場合は、AI ツールの設定でチャット履歴や類似機能を無効にしてください。これにより、コンテンツが保存されたり、AI システムの学習に使用されたりするのを防げます。
- 無料またはライセンス契約のない AI ツールに入力した情報は、プロバイダーによって保存、利用、分析される可能性があることに留意してください。
- プライベートな話題や機密事項が扱われる会合では、主催者として会合の記録や文字起こしに AI ツールを使用しないようにします。
- 会合参加者が AI による議事録作成を行う場合に注意してください。会合の内容上、AI による議事録作成が不適切な場合は、その機能を使わないことを丁寧にお願ひするか、AI による議事録作

成ができないプラットフォームで会合を開いてください。これによりプライバシーが保護され、会合での積極的発言が促されます。会合が録画された場合にも、録画にアクセスできる人が後日に AI を使って議事録を作成してしまう可能性があります。

外部の AI サービスに個人情報や機密情報を入力することには、法的リスクが伴う可能性があります。**欧州連合（EU）の一般データ保護規則（GDPR）** およびその他の適用される**国内データ保護法**の下では、外部の事業者による AI プラットフォームに個人情報や機密データを提供することは、プライバシー規制違反に該当する可能性があります。これらの行為は、違反の性質や深刻度に応じて、罰金、行政処分、またはイメージ悪化につながる可能性があります。

確信がない場合は、アップロードしないでください。

6. データセキュリティ

AI ツールに関するデータセキュリティの推奨事項は以下の通りです：

- AI ツールは安全で信頼できるネットワークでのみ使用し、公共の Wi-Fi は**使用しないでください**。可能な限り、追加の保護対策として**仮想プライベートネットワーク（VPN）**を使用してください。
- プライバシーと情報共有の設定を確認し、ロータリーのデータが外部に漏れたり、公開されたりしないようにしてください。
- 強力なパスワードを使用し、可能な場合は多要素認証（MFA）を有効にしてください。
- **生産性向上アプリ**（E メール、カレンダー、チャット、文書作成、プロジェクト管理ツールなど）を使用する際は、ロータリーのデータにアクセスまたはデータを共有する可能性のある AI プラグインや拡張機能、あるいは会合に自動的に参加して文字起こしを行う機能は**使わないでください**。

7. 知的財産の保護

情報がオンラインで入手可能であること（Rotary.org またはその他のウェブサイト）は、AI ツールの使用を含め、あらゆる用途での自由な使用を意味するものではありません。公開されているコンテンツも、著作権、商標、プライバシー法によって保護されている場合や、特定の利用規約が適用される場合があります。AI ツールでオンラインコンテンツを使用する前に必ず出典を確認し、制限事項を把握することで、プライバシーや権限を尊重し、ロータリーの方針を遵守してください。

以下のルールに従ってください：

- 国際ロータリーによる明確な許可なく、ロータリーのロゴ、ブランドコンテンツ、その他の知的財産を AI ツールにアップロード**しないでください**。これには、ロータリーのブランドリソースセンター、出版物、ウェブサイトにあるロゴ、画像、写真、動画、記事、その他の資料／素材が含まれます。また、クラブ名と地区番号の入ったロゴも含まれます。
- ロータリーのロゴとロゴ入りのグラフィック、その他の商標入り素材の作成に AI を使用**しないでください**。
- 特定の個人の肖像や創作スタイルを無断で模倣したコンテンツを生成**しないでください**。これにはポール・ハリスやロータリーに関連するその他の人物も含まれます。
- AI を使用してクラブや地区の資料（イベントのちらしやソーシャルメディア投稿など）を作成する場合は、ロータリーのブランドガイドラインに従ってください。AI で作成した資料に[クラブ名または地区番号の入ったロゴ](#)を追加しても構いませんが、AI を使用してそれらのロゴを改変したり、ロータリーロゴを AI で生成したり、ほかの目的のためにロゴを AI ツールにアップロードしたり**しないでください**。
- ロータリーのロゴの使用はすべて、**ブランドガイドライン**およびロータリーのライセンス規約に準拠する必要があります。正確な色の再現、デザイン要素の配置やサイズなどの仕様については、[ブランドリソースセンター](#)をご参照ください。
- チャットボットやバーチャルアシスタントなどの AI ツールに、国際ロータリーが承認または認定したように誤解される名称を**付けしないでください**。名称はすべて、ロータリーの商標とブランディングの方針に従う必要があります。「ロータリー」や「ロータリアン」という名称、ロータリーのロゴ、その他のロータリー商標またはサービスマークを AI ツールの名称または表示に使用する場合、スポンサーとなるクラブまたは地区を明確に識別する表示が必要であり、そのツールが国際ロータリーによって運営または承認されていることを示唆してはなりません。

8. 写真、動画、肖像

会員、ボランティア、受益者、参加者、協力者／協力団体、そのほかの個人を特定できる写真や動画は、本人からの明確な許可がない限り、AI システムにアップロード**しないでください**。これには、ポール・ハリスやそのほかのリーダーなどのロータリー関連人物の肖像も含まれます。

明確な同意なしに、AI を使用して人の肖像を模倣または利用した画像（ディープフェイク、合成画像、生成画像を含む）を作成、改変、アニメーション化、またはそのほかの方法で処理**しないでください**。

未成年者がかかわる状況や慎重な対応が求められる状況については、画像を AI ツールにアップロードまたは使用する前に、必ず保護者または必要な関係者からの書面による承認を得てください。

9. データの正確性とバイアス

AI コンテンツには**誤りやバイアス（偏り）**があったり、**不完全**であったりする可能性があります。AI で生成された文書やコンテンツを共有する場合は、**事前に事実確認**を行い、AI が引用する外部情報源が**信頼できるもの**であることをご確認ください。

10. AI 使用の開示

ロータリー関連のコンテンツを作成するために AI を使用する場合は、そのことを率直に開示してください。開示とは、AI ツールがいつ、どのように使用されたかを明確に伝えることで、視聴者や読者がそのコンテンツにおける AI の役割を理解できるようにすることです。

文書、画像、デザインの生成など、コンテンツ開発で AI ツールが**広範に使用**された場合には、開示してください。編集やフォーマット調整における補助的な AI の使用については、必ずしも開示する必要はありません。

AI が生成、または AI を利用して作成されたことを適宜、明記してください。開示の例：

- 「一部のコンテンツに AI ツールを使用しています」
- 「このコンテンツは、AI を使用して作成されました」
- 「このコンテンツは、AI が生成した内容を人が確認・調整したものです」

AI は、ロータリーの参加者の判断や創意工夫に代わるものではなく、それを支えるものです。

11. お問い合わせ

AI の個々の使用方法について適切かどうか分からない場合、ロータリーお問い合わせセンター（E メール：rotarysupportcenter@rotary.org）にご連絡ください。